

# 第28回 日教組栄養教職員研究集会



全体会の様子

7月30日(土)・31日(日)の2日間、岩手県盛岡市のつなぎ温泉「湯守ホテル大観」にて、第28回日教組栄養教職員研究集会が開催されました。本県からは7名が参加しました。

## 1日目の全体会

1日目の全体会では、福山隆志日教組栄養教職員部長より基調提案がありました。福山氏は、昨今の栄養教職員をとりまく情勢に触れつつ、「食教育の推進」「学校給食や労働条件の改善」の重要性について話されました。また、日栄研での学習や実践交流会を通して、各ブロックや単組での学習会などを積極的に開催することで、仲間を増やし、組織の拡大・強化を図るよう強調されました。

## 1日目の分科会

全体会後、3つの分科会が開かれ、特に第3分科会では、本県の栄養教職員部長兼坂井ブロック長である越桐由紀子先生(芦原小分会)が「栄養教諭への100%任用替えをめざして」というテーマで発表をしました。越桐先生は、本県での栄養教諭配置の経過について触れた後、栄養教職員部と県教組との連携(政策懇談会・県人事委員会交渉・県教委への要望書・教育請願書)について説明をしました。これについては、藤川日教組組織・労働局長から、共同研究者講評で、本県の組合活動が、高い組合組織率を背景に、組織内・協力議員団や県PTA、連合福井等の関係団体の支援を仰ぎながら、密接に連携し、取り組んでいることに高い評価をいただきました。



越桐先生の発表



第3分科会の様子

## 2日目の講演会

2日目には、「地産地消の給食から地域、教育、子育てを展望する」という演題で、食環境ジャーナリストの金丸弘美さんをご講演をしてくださいました。学校給食で、「地産地消」を成功させるポイントについて、全国の活動事例を挙げながら、そのヒントを与您てくださいました。素晴らしい取り組みの数々に会場からはどよめきも上がりました。先生方にとって、大変参考になったことと思います。



金丸弘美さんのご講演



講演会の様子